

本日の流れ

パート1	家族への暴力に関する研究	
パート2	疾患と治療	
パート3	病状悪化時	
パート4	平常時	
パート5	解決策とリカバリー	振り返りタイム
パート6	親と子のメッセージ	
パート7	相談窓口	振り返りタイム

次は、パート2 疾患と治療です。

統合失調症の症状とは？

パート2 疾患と治療

陽性症状 幻覚妄想、誰かに支配されている など

陰性症状

- ・やる気がでない ・感情が感じられない
- ・人と関わりたくない ・会話が少ない

認知機能障害 約半数の方にみられます*

- ・覚えられない ・考えがまとまらない
- ・思ったように話せない
- ・認知の歪み

極端に他人のせいにする

他人が自分と違う信念をもつことを理解できない

少ない情報で確信をもつ など

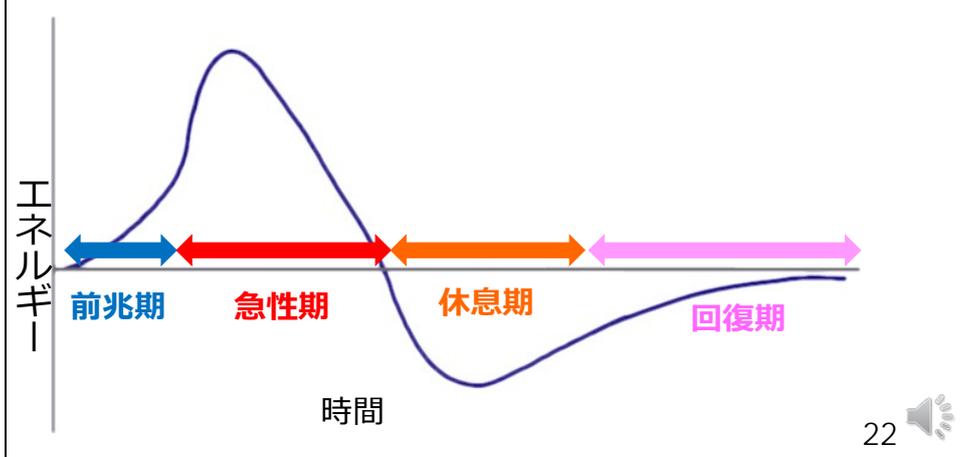
参考：池淵恵美他：精神神経学雑誌、2012
*日本神経精神薬理学会：統合失調症薬物治療ガイドー患者さん・ご家族・支援者のために、2018

21

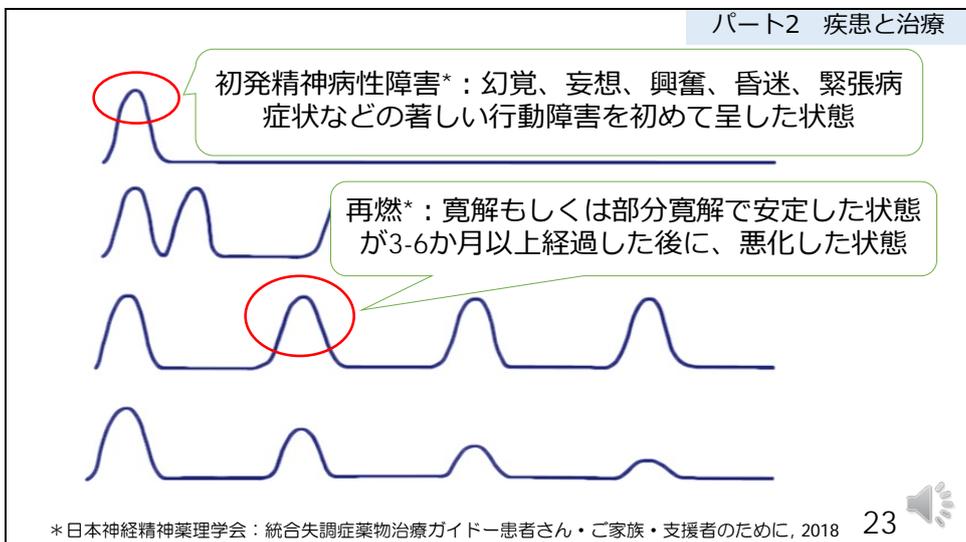


統合失調症の主な症状には、陽性症状、陰性症状、認知機能障害があります。陽性症状とはもともとなかったのに現れる症状で、幻覚妄想などです。陰性症状とはもともとあったものが乏しくなるもので、やる気がでない、感情を感じられないといった症状があります。認知機能障害は約半数でみられると言われていています。覚えられない・考えがまとまらない・思ったように話せない、極端に他人のせいにする・他人が自分と違う信念をもつことを理解できない・少ない情報で確信をもつなどで、コミュニケーションや仕事に支障をきたすと言われていています。

統合失調症の経過



統合失調症の典型的な経過としては、活動エネルギーが急に高くなる「急性期」があり、幻覚妄想などの陽性症状が出ます。そこで薬物治療が始まり、陽性症状は比較的治まってきます。急性期の治療が通院で対応が難しい場合は、入院することもあります。陽性症状が治まると、一般的には活動エネルギーが落ちる休息期に入り、その後、ゆっくりと回復に向かいます。



しかし、実際には、長期経過は人によって異なります。
 初発の症状が一度だけでおさまるとい方は多くなく、
 一度安定した状態が続いていても、また悪化をすることも珍しくありません。
 病気は、治るという捉え方よりも、一生付き合っていく、慢性疾患だと考えるとよいでしょう。

統合失調症の治療

本人の状態

退院後すぐ
少し元気になる

地域に出たい
社会参加

働いてみたい

サービス*ここで書いているサービスは目安であり、人によって異なります

デイケアなど

日中活動の場
(地域活動支援センターなど)

就労支援

訪問看護、家事援助、通院等介助

薬物療法

24



治療には、薬物療法だけでなく、リハビリテーションも行われます。

統合失調症では、病状が安定しても抗精神病薬を服薬することで再発を予防できる可能性が高くなることが明らかになっています。病院で行っているデイケア、日中の居場所である地域活動支援センター、働く準備としての就労支援などがあります。また、家に訪問して相談にのってくれる訪問看護や、家事を手伝ってくれるヘルパー、通院を介助してくれるサービスもあります。

パート2が終わりました。次はパート3です。

パート1 家族への暴力に関する研究

パート2 疾患と治療

パート3 病状悪化時

パート4 平常時

パート5 解決策とリカバリー

パート6 親と子のメッセージ

パート7 相談窓口

振り返りタイム

振り返りタイム



パート2が終わりました。次はパート3です。